駅から鎌倉の伝統文化発信
江ノ電鎌倉駅に鎌倉彫設置

江ノ島電鉄（藤沢市、片瀬海岸、楢井進社長）が、今夏行われる予定だった東京五輪に向けて、江ノ電沿線の鎌倉駅など4駅のリニューアル工事を行い、その一環で江ノ電鎌倉駅のコンコース壁面に設置した鎌倉の伝統工芸「鎌倉彫」が6月26日にお披露目された。

制作にあたったのは鎌倉彫協同組合（後藤尚子代表理事）で、1年7カ月ほど前に話を持ち掛けられ、同組合員約10人が手掛けた。後藤さんは「展示場所が駅の構内であること、鎌倉の芸術文化を発信することを意識して制作した」と話す。

江ノ電鎌倉駅に設置された鎌倉彫の前で、左から中沢さん、遠藤さん、後藤さん

「中世」「近代」「現代」の3部門にわけて、その時代の代表的な彫りと塗りを表わしている。各部門タテ20㌢×ヨコ60㌢、厚さ3㌢の板3枚を使用。

「線」の題名で制作にあたった鎌倉彫資料館の遠藤英明館長は「屋外でも変色しない塗りを施した」という。

江ノ島電鉄の観光企画部長・中沢俊之さんは「多くの人が利用する公共施設で鎌倉彫を身近に見て親しんでいただけたらうれしい」と話している。

ひと
商工会のベストアクション表彰を受賞した
藤川譲治（ふじかわじょうじ）さん

北鎌倉の精進料理・会席料理「鉢の木」の社長。商工会議所の事業活動を通じて地域経済の振興に貢献したとして、6月に関東商工会議所連合会の「ベストアクション表彰」を受賞した。

「私がどうしてなんですかね」と謙遜するが、鎌倉商工会議所の観光部会長として鎌倉観光のあり方に長年取り組むと同時に、「鎌倉検定」を会議所の文化イベントとして長谷ツアーを実現させた。「これがこれからの観光の姿かもしれない」と期待を寄せる。

本業もコロナで打撃を受けている。精進料理の北鎌倉店はいまだ休業中だ。和食を提供する新館は7月に入って客足が5～6割戻ったが、それもお弁当の販売、配達などに力を注いだ結果だという。「うちは格式張ったイメージがあるが、建長寺さんの前のおにぎり屋から始まった店。いろんなことをやらせてもらっている」と語る。食の原点に立ち返って、若い社員たちとともに将来を模索したいという。

15年ほど前に「鎌倉俳句&ハイク」を立ち上げるなどアイデアに富んでいる。若い人からよく声がかかる。マイクロツーリズムもその一つ。道路をほさんで向かいにオープンした若者向けカフェの店主とは「北鎌倉でマルシェ（市場）をやりたいね」と意気投合している。

7年ほど前から「コーチング」を受け、自分自身を見つめ直している。「社長業をやっていると率直な意見を述べてくれる人がいないので」

大学では体育会系スキー部に所属、全日本にも出場した。今も毎シーズン、スキーに出かける。冬に向けて毎朝60回スクワットを欠かさない。子ども2人は独立。北鎌倉女子学園近くの台山に、学生時代スキーで知り合った妻と二人暮らし。68歳。

（文・写真　三浦準司）

フレイル予防体操を製作
みらいふる鎌倉が普及活動

みらいふる鎌倉（鎌倉市老人クラブ連合会）が、高齢者の健康維持のため、フレイル予防体操を製作し、7月11日、鎌倉の深沢学習センターで同地区の会員に披露した。

始めに神奈川県老人クラブ連合会活動推進員の松田冴子さんが、「コロナより孤立が心配」と話を切り出し、フレイル予防について説明。「フレイル」とは虚弱のこと。元気にすごせる健康寿命をのばすために、フレイルに早期に気づいて予防することが大切で、そのための3つの柱として「運動」「栄養」「社会参加」をあげ、健康の増進を呼びかけた。

寺分楓会の久富貞二さん（85）は、呼吸法を紹介し、50年以上も医者にかかっていないこと、100歳まで生きることを目標にしていること、気持ち次第で健康を維持できることなどを伝えた。

最後に「みらいふる鎌倉」のテーマソングに合わせたフレイル予防体操を、画像を見ながら参加者全員で行った。

この体操は、同会がエグザクト社（東京都港区・山本博司社長）の老恋ジャー委員会に製作を委託し、明治安田生命相互会社大船支社の後援を得てDVD化にこぎつけた。フレイル予防に適切な動作が入れられている。

同会の石渡好行会長は「自分の健康は自分で維持していきたい」と意気込み、地区ごとに順次講習会を開いて体操の普及を目指すと話していた。

海水浴場のパトロールに役立てて
豊島屋がキャップを寄贈

鳩サブレーでお馴染みの鎌倉の豊島屋が7月13日、鎌倉市にキャップ（帽子）を寄贈した。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、鎌倉市は海水浴場の開設を取りやめたが、海岸の風紀維持のための取り組みの一つとして、地域の海浜関係団体によるボランティアパトロールを実施することになった。ボランティアパトロールは7月23日から8月末まで、鎌倉マリンスポーツ連盟、日本サーフィン連盟鎌倉支部などの有志があたる。

同社の久保田陽彦社長は「パトロールの方々の熱中症対策に役立ててほしい」とキャップ2百個を松尾崇鎌倉市長に手渡した＝写真。

同社は鎌倉市内3海水浴場のネーミングライツ（命名権）を持つ。白と青のツートンカラーの帽子はそのとき公募で決まった鳩のキャラクターをデザインしたロゴマークのステッカーつき。

〝コロナに負けるな〟応援メッセージはがき

皆さまから寄せられた作品を紹介します。

こうえんで見つけたけど虫大きくてコロナのせいで出あえたいのち　小2　永峰瑞子

つらかった人の命はせつないがコロナにうばわれかなしきじかん　小4　潮見空松

さびしいな学校行けないこの思い友達関係大事に守ろう　小4　宮本創師

コロナ下に変わらぬものの一つにて八幡宮の上に照る月　梶原　大滝清葉

今が底辺く未来すぐそこにコロナ撲滅命の輪　大町　小林千江子

季節の心 ㊼
花火に祈りをこめて　佐伯　仁

●花火よ、高く高く

8月。宵闇に瞬く蛍を讃えたのは清少納言、現代で歓声が湧くのは花火。

去る6月1日午後8時、全国約2百カ所で一斉に160超の業者が花火を打ち上げた。コロナに負けぬよう花火で元気と希望を届けたい―若手職人の企画だ。

花火と言えば誰もが口にするのが「玉屋ぁー、鍵屋ぁー」だろう。鍵屋は江戸・両国花火の元祖。江戸幕府の〝御用達〟を務め、1659年（元治元年）両国橋（隅田川下流に架かる橋。武蔵・下総を結ぶ）の竣工に際し花火を打ち上げている。

その後、1732年（享保17）江戸にコレラが大流行し、数万人の死者が出たため、8代将軍吉宗は犠牲者の慰霊と悪疫退散を祈り隅田川沿いで水神祭を実施したところ、屋台や花火の見物客で賑わった。

一方、埼玉・秩父の椋神社では、10月の祭礼で市民の手作りロケット「龍勢（りゅうせい）」（重要無形民俗文化財）を打ち上げて奉納する。27地区で技を競う力作揃い（今年は中止）。

ロケットの轟音は神へのメッセージ。感謝の心を神に届けたい―だから神により近くの天空でより響く音で、より高く打ち上げる。

木の末に遠く花火の開きけり　子規

鎌倉朝日歌壇

香山　静子　選

夕されば帰宅の人らの急ぎ足新型コロナ襲うこの春　逗子市　湊　美根子

さりげなく現状を詠んだ優れた作品。

嬉しくて楽しくてすぐに帰れないランドセルの子はマスクで笑う　大船　小笹岐美子

子供の様子が弾むような表現にみえる。

下校時に笑ひさざめく少女らのマスクに負けぬ白きプラウス　葉山町　近藤美知子

色彩感覚が鋭い。少女らの清潔感をようこばしく思う作品。

江の島の石段昇り喘ぐ身にひと声高く老鶯の鳴く　片瀬　中村　喬

優れた描写によって場の様子が鮮明に見える。

マスクしてフェイスシールドの暮仇と手談たのしむ蟄居の日々を　辻堂　柳　蒼

優れた描写によって場の様子が鮮明に見える。

嬉きやまぬ山鳥の声に心悲し千々に乱るる恋歌に似て　葉山町　近藤　純

ほの朱く染まりし蕾が咲きみちて真白になりぬ蓮池浄土　藤沢市　田辺　紀子

ミニトマト千成瓢箪の様に似て秀吉の手柄我が庭にあり　笛田　入野　裕江

「ウィズコロナ」元の生活に戻れぬと覚悟求める言葉なりけり　藤沢市　三浦　和子

友の弾くヴァイオリンの音聞こえくる伴奏のピアノいく度も弾けば　材木座　有野裕美子

強き陽を受けてかがやく花なれば来年桃は八重であるべし　藤沢市　青木寿美子

スーパーの弁当三つぶらさげて妻と通ひし見舞の帰り　岡本　鳴海　紀政

鎌倉朝日俳壇

星野　高士　選

〈天〉緑陰も人の憩へば寄りがたし　笛田　上田　満喜

今年はコロナ禍で緑陰に先客がいれば寄らないで素通りしてしまう。今だからこその一句だ。

〈地〉噴水の水押し合うて待つ出番　山ノ内　高橋　仁

噴水は涼を呼ぶにはもってこいの夏の季題。次の水が出番を待つという意表をついた作品。

〈人〉コロナ禍や池の金魚のうらやまし　笛目町　出蔵かおる

金魚はコロナと無関係。そんな作者の情が面白かった。

朝一の海風居間へ網戸越し　腰越　松原　薫

いかにも海辺の家というかんじ。網戸も効いている。

梅雨晴間さすらひ猫は今日は来ず　今泉　小林刀羊子

梅雨の晴れ間は有難い。でもいつものネコの姿が見えないのも気がかり。作者のやさしい気持ちと心配りだ。

百足出て夫婦ゲンカは幕となる　材木座　有野　冬花

こんな効果があったのは一つの発見。俳諧味のある句。

山吹や通せん坊する切通し　藤沢市　槇野あさ子

花ござのかをりの上にヨガポーズ　藤沢市　森田　順子

朝顔の路地のゴミ出し駅の道　腰越　小河　哲美

盆東風やトワイライトの帆とマスト　台　藤明

紙魚走る思い出つまる通知票　大船　添田　洋子

休校のきしむ校門毛虫這ふ　岡本　鳴海　紀政

そっと咲くドクダミの花艶やかに　手広　高口　道宏

万緑や戒名無用の夫逝きぬ　城廻　小美野　京子

ミニトマトもぎ取る客の笑顔かな　城廻　塩田　文子

胸の内少し吐露して日傘差す　梶原　吉田　健二

振り返る卯の花匂う雨上り　岡本　森田　孝

陶房の夏芝の径やや下り　植木　風見　玲子

休校の庭に眩しき若葉かな　藤沢市　一色千穂子

飾りおくものにはあらずさくらんぼ　藤沢市　青木寿美子

鎌倉朝日 発刊協力グループ
朝日新聞サービスアンカー

ASA鎌倉小町
長谷一―一九
☎22―3236

ASA鎌倉中央
二階堂四―七
☎22―1004

ASA鎌倉深沢
常盤二四七―二
☎31―1444

ASA藤沢東部
藤沢市弥勒寺三―二二―二
☎0466―22―7409

ASA大船中央
大船四―二一―二〇 アーバンハイツ1F
☎38―7322

ASA大船西部
玉縄一―一四―一
☎46―6068

ASA大船南部
大船四―二一―二〇 アーバンハイツ1F
☎38―7322

ASA藤沢南部
藤沢市鵠沼藤が谷二―一―三
☎0466―27―8716

ASA藤沢南部
藤沢市鵠沼藤が谷二―一―三
☎0466―27―8716

ASA湘南鵠沼
藤沢市鵠沼海岸二―一―一
☎0466―34―6924

ASA藤越
藤沢市鵠沼藤が谷二―一―三
☎0466―27―8716

ASA逗子
逗子市久木一―一―一
☎046―871―2368

ASA東逗子
逗子市沼間一―四―四
☎046―871―6845

ASA葉山
三浦郡葉山町堀内一八〇八
☎046―875―0515

ASA金沢八景
横浜市金沢区六浦一―二一―三
☎045―782―2859

ASA大船北部
横浜市栄区笠間四―一一―九
☎045―891―0986